

## 会 議 録

会議の名称	第5回弥富市総合計画審議会
開催日時	令和5年7月31日(月) 午後1時30分～3時30分
開催場所	弥富市役所本庁舎5階 協議会室
出席者及び欠席者	出席者：藤井勉（会長）、入江容子（職務代理）、高谷昇、鬼頭由美子、児玉日佐美、佐藤博孝、榊原進、南谷元尚、井上猛、奥村明彦、伊藤善啓、八木輝治、清水香菜、東嶋とも子、釜田公良、手嶋正章、今井いずみ、鈴木裕一（順不同） 欠席者：伊藤肇章、伊藤恵造（順不同） 事務局：市長、副市長、教育長、総務部長、市民生活部長、健康福祉部長、建設部長、教育部長、議会事務局長、総務部参事、企画政策課長、企画政策課職員5名、株ぎょうせい1名（順不同） 傍聴人：0名
会議内容	1 開会 2 あいさつ 3 協議事項 （1）後期基本計画素案について 4 その他 5 閉会
会議資料	1 次第 2 資料1-1 第2次弥富市総合計画後期基本計画のあらまし（案） 資料1-2 第2次弥富市総合計画後期基本計画素案 資料2 弥富市デジタル田園都市構想総合戦略（案）

発言者	会議の経過（議題・発言内容等）
事務局（佐藤企画政策課長）	<p>1 開 会</p> <p>御連絡させていただきます。</p> <p>当審議会は、弥富市総合計画審議会運営要領において、原則公開することとされており、また、弥富市総合計画審議会傍聴要領で傍聴について規定をしております。本日、傍聴の方はおられませんので、御連絡のほうをさせていただきます。</p> <p>定刻となりましたので、ただいまより第5回弥富市総合計画審議会を開催させていただきます。</p> <p>本日司会を務めさせていただきます企画政策課長の佐藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本審議会は、会議録作成のため録音をさせていただきますので、御了承ください。</p> <p>また、御発言の際は、お手元のマイク操作を事務局のほうで行いますので、スイッチ等は触れず、挙手にてお願いをいたします。</p> <p>なお、会議録及び会議資料は原則公開することとし、委員名簿につきましても、お名前、所属、役職は公開することとしておりますので、御承知おきください。</p> <p>続きまして、欠席委員の御連絡をいたします。</p> <p>本日は、委員名簿 3番 伊藤肇章委員、12番 伊藤恵造委員より欠席の御連絡をいただいておりますが、定足数を満たしておりますことを申し添えます。</p> <p>会議に入ります前に、資料の確認をさせていただきます。本日、机の上に配席図、委員名簿をお配りしておりますが、そのほか、先日郵送にて送付させていただきました資料はお持ちでしょうか。もしお持ちでないようでしたら挙手にてお申出をお願いいたします。</p> <p>本日の第5回審議会におきましては、次第にもございますが、後期基本計画素案について御協議いただきたいと思います。</p> <p>前回御審議いただきました改正骨子を現行計画に溶け込ませる作業をいたしましたので、そのうち現状・課題及び主要施策についてと、この総合計画を受けて作成しました総合戦略の案について御協議をいただきたいと思いますと考えております。</p> <p>本日の会議は午後3時30分までとしておりますが、議事の終了をもちまして閉会とさせていただきます。皆様方の御協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、次第に基づきまして進行させていただきます。</p> <p>次第の2、あいさつに移ります。</p> <p>初めに、安藤市長、よろしくお願いします。</p>
安藤市長	<p>2 あいさつ</p> <p>皆様、こんにちは。</p> <p>本日は、第5回弥富市総合計画審議会をお願いいたしましたところ、大変暑い中、また公私とも御多用の中を御出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>委員の皆様方には、常日頃より、市政各般の推進につきましては、御支援と御協力を賜</p>

<p>事務局（佐藤企画政策課長）</p>	<p>り、重ねてお礼を申し上げます。</p> <p>さて、第4回審議会では、後期基本計画の改正骨子をまとめていただいたところでございます。</p> <p>本日は、その改正骨子に加え、制度改正や、市の取組の追加、変更等を前期基本計画に反映させて作成しました、後期基本計画の素案をお示しさせていただきます。</p> <p>さらに、第2次弥富市総合計画後期基本計画のあらまし案として、具体的に取り組む主要な施策を取りまとめました。また、第2期弥富市まち・ひと・しごと創生総合戦略が令和5年度をもって期間終了となることから、総合計画と一体的に策定をいたします。</p> <p>これらにつきまして、後ほど担当より説明させていただきます。委員の皆様方におかれましては、慎重に御審議の上、忌憚のない御意見、御提言を賜りますようお願い申し上げます。あいさつとさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
<p>藤井会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>続きまして、当審議会会長より御挨拶をいただきます。</p> <p>藤井会長、よろしくお願いいたします。</p> <p>皆様、こんにちは。</p> <p>本日もお暑い中でございますけれども、審議のほど、何とぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>私の住んでいる地域ですけれども、土日は夏のお祭りがございました。コロナの前にやっと戻ったといいますか、やっと通常どおりといいますか、お祭りが土日に開催をされました。私も子供たちも参加をして、子供たちは子供たち同士で、夜遅くまでですけれども、お祭りを楽しんで、保護者、親は親同士、いろいろ話をする場という部分で、やっぱりこういう場が大切だなと思いつつながら、こういう場で地域への愛着、まちへの愛着というものが育まれるのかなと、私も参加をしながら思っていました。</p> <p>この審議会の中でアンケートも取った中では、弥富市への愛着というものは、7割以上を超えていると、アンケートの結果からも出ておりましたけれども、この後期の計画を進めていく中では、いろいろな事業が実施される中で、弥富市への愛着、7割ある方がさらに、または、7割以外の方が愛着を持てるように、この計画が立てられて進めていけるといいのかなと思いました。</p> <p>そして、委員の皆様は、そういった愛着を持っている皆さんに影響力が大変ある方ばかりではないかなと思いますので、本日で5回目で、審議会としては全8回で折り返しの時期になります。今日も、具体的な文言の審議になっていくかと思いますが、これまでと変わらずに、いろいろな御意見等賜りまして、審議を進められればと思っております。</p> <p>本日もどうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局（佐藤企画政策課長）</p>	<p>3 協議事項</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>続きまして、次第の3、協議事項に移ります。</p>

藤井会長	<p>ここからの進行につきましては、藤井会長の取り回しでお願いいたします。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、次第に沿いまして、協議事項のほう、進めてまいりたいと思います。</p> <p>協議事項の（１）になりますけれども、後期基本計画の素案についてになります。</p> <p>事務局より御説明のほう、よろしくをお願いいたします。</p>
事務局（伊藤）	<p>後期基本計画素案につきまして、事務局の伊藤より御説明をさせていただきます。</p> <p>資料１－１ A3サイズの「第２次弥富市総合計画後期基本計画のあらまし（案）」及び資料１－２「第２次弥富市総合計画後期基本計画素案」を御用意ください。</p> <p>資料１－１は、後期基本計画のポイントをまとめた資料で、前回の審議会で改正骨子案を御説明した際、これよりコンパクトな形でお示しさせていただきましたが、今回は、より具体的な内容を盛り込んで作成いたしました。</p> <p>資料１－２は、後期基本計画本体の素案となっております。５月２２日に開催いたしました第４回審議会におきましてまとめたいただきました改正骨子を、現行の前期基本計画に反映させたものとなりますが、今回は、後期基本計画に記載いたします、「現状・課題」及び「主要施策と概要」の案となります。なお、朱書きの箇所につきましては、改正骨子を踏まえたもの、制度改正、市の新たな取組や変更点等としており、軽微な変更等につきましては、黒字としております。</p> <p>なお、各施策に紐づく「主要事業」や「成果指標」等につきましては、次回の審議会においてお示しする予定でおります。</p> <p>本日は時間の都合もありますので、A3サイズの資料１－１「第２次弥富市総合計画後期基本計画のあらまし（案）」に基づき説明させていただきます。</p> <p>始めに、左上の枠内ですが、こちら、繰り返しとなりますが、平成３１年度から令和１０年度の基本構想期間における前期基本計画の進捗状況、社会情勢の変化と行政需要等を踏まえ、令和６年度から令和１０年度までの５年間の後期基本計画を策定するものでございます。</p> <p>その下に移ります。「１ 計画期間における主要な社会情勢の変化と行政需要等」といたしまして、第２次弥富市総合計画を策定した平成３１年度から現在までの状況変化について以下の３点を掲げております。</p> <p>一つ目は、「コロナ禍による市民活動抑制からの脱却」です。コロナ禍で抑制・停滞した市民活動を「楽しい」を前面に再開し、底上げを図っていく必要があります。</p> <p>二つ目は、「的確・迅速な情報提供」です。コロナ禍により市民自らが正確な情報を収集し、適切な行動に移すことの重要性が再認識されたことに伴い、必要な情報を的確・迅速に、市民ニーズに沿った情報提供が求められています。</p> <p>三つ目は、「DXの更なる推進」です。社会のデジタル化・DX化が急展開し、市民生活の利便性が向上する中、全ての市民がデジタル化の恩恵を享受できるよう、行政分野のDX化を推進するとともに、情報格差の解消や情報の入手・利用が困難な方への支援を行う</p>

必要があります。

これらの状況変化に対しまして、その下、「2 後期基本計画期間で新たに取り組む主要な施策」で記載しております、大きく7つの項目について推進してまいります。

「(1) 市民が参加したくなる「楽しい」イベント等の開催」です。ここでは、ゲーム感覚で参加でき、楽しみながら防災知識を学ぶことができる防災イベントの開催や、保育所や小中学校において子どもの発達段階に応じた防災教育による防災意識の醸成、誰もが楽しんで参加できる「スポーツフェスティバル」の開催、市民団体によるマルシェ開催等、市民の「やりたい」気持ちの実現に向けた支援を目指します。

「(2) 市民の知りたい情報をパッケージにした情報提供」です。ここでは、子育て支援や各種相談窓口等、市民の知りたい情報をパッケージ化したポータルサイトの開設や、SNS・YouTube等を活用した迅速・的確な情報発信を行います。

「(3) DXの推進と個別の相談に寄り添う、便利さと安心の両立支援」です。住民票等のコンビニ交付、キャッシュレス決済、電子申請等の行政サービスを充実し、市民が暮らしやすさと安心を実感できる行政分野のDX化を推進するとともに、教育分野での相談窓口「カラフル」や「なんでも相談窓口」等により、市民一人ひとりに向き合う相談窓口を充実させます。

「(4) 「子育てするなら弥富市へ」の関連施策の充実」です。子どもの気持ちを最優先に子育て支援、保育所の民営化、おいしい給食の提供等、子ども関連施策を一体的に推進するとともに、市内外に「子育てするなら弥富市へ」を積極的に発信します。また、児童・生徒の「生きる力」を育成するため、小規模小中学校を再編し、教育環境を充実させます。子どもが「行きたい」と思う図書館となるよう、一部スペースをリニューアルし、居心地のよい空間を創出していきます。

「(5) 高齢者が外出したくなる「楽しい」環境づくり」です。文化・スポーツ活動やサロン、多世代交流等による高齢者の生きがいづくり支援、高齢者等が外出時に利用しやすい公共交通の再編・効率化を進めます。

「(6) 産業・農業の振興、賑わいづくり」です。JR・名鉄弥富駅自由通路及び橋上駅舎化事業等の着実な推進、50万円の新規出店起業者支援や企業立地の推進等、産業・農業の振興を図ります。

最後に、「(7) 多様な主体との協働、行財政改革 等」としまして、多様な主体との協働、まちなか交流館2階の市民活動スペース設置、行財政改革、パブリシティ活動による情報発信を強化していきます。

以上が資料1-1、後期基本計画のあらまし(案)の説明となります。

続きまして、資料2「弥富市デジタル田園都市構想総合戦略(案)」について御説明いたします。資料の御用意をお願いいたします。

こちらは、第1回審議会第2次弥富市総合計画後期基本計画の策定方針において少し触れさせていただいておりますが、現行の第2期弥富市まち・ひと・しごと創生総合戦略が令和5年度をもって計画期間終了となります。また、本市の目指すべき方向性が、総合戦略と総合計画は同一であることから、これまで別々に策定しておりました両計画につい

て、総合戦略の内容を後期基本計画と整合させ、位置づけを明確にし、策定いたしました。

それでは1ページ目「後期基本計画の重点戦略としての施策展開」についてですが、国においては、令和4年12月23日にデジタル田園都市国家構想総合戦略が閣議決定されました。中身は、デジタル実装を通じ、地域の社会課題の解決と魅力の向上を図っていく構想とされています。地方でも、自主的・主体的に構想の実現に向けた取組を推進し、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指すこととされています。

そこで、本市におきましても、国の総合戦略の名称変更に伴い、名称を「弥富市デジタル田園都市構想総合戦略」と改め、総合計画後期基本計画に掲載する各施策から、「誰もが便利で快適に暮らせる社会」を実現するために、特に重要な施策を抽出し、それを5つの重点戦略としてまとめたものを総合戦略として位置付け、策定いたします。

2ページ目を御覧ください。「総合戦略の全体概要」といたしまして、横断的目標に「デジタル社会と暮らしやすさの調和」を掲げ、将来ビジョンである「多様な暮らしを支える“ひと”中心の持続可能なまち」を目指して、5つの重点戦略により推進してまいります。

重点戦略1「弥富市に仕事をつくる」、2「弥富市への人の流れをつくる」、3「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、4「魅力的な弥富市をつくる」につきましては、国の総合戦略における施策の方向性と同一とし、5つ目の「DXで暮らしを豊かにする」は、行政のデジタル化をより一層推進し、デジタル技術の活用によりDXを実現することで市民の利便性向上を図ります。これら5つの重点戦略を総合的・効果的・効率的に取り組んでまいります。

そして、本市が目指す総合戦略における将来ビジョンとしましては、人口減少が進行している中、新たな定住者を増やす取組を推進しながらも、現在住んでいる市民の暮らしやすさを高め、“ひと”と“ひと”との繋がりからもたらされる安心感や賑わいを大切に、デジタルを活用した、ずっと住み続けたいと思えるまちを目指し、「多様な暮らしを支える“ひと”中心の持続可能なまち」と決めました。この将来ビジョンは、本市に関わる全ての人が、市の様々な資源を次の世代へしっかりと繋いでいく、総合計画の将来像「地域でつくる「人・自然・文化」の調和、輝く未来へ繋ぐまち・弥富」を目指す上での、より具体的な目標に位置付けることといたしました。

続いて3ページ目から最終11ページ目までにつきましては、基本的には総合計画に記載のある内容を重点戦略単位で整理したものととなりますが、空欄箇所につきましては、総合計画の主要事業や成果指標等を御提示できる次回の審議会において併せてお示しする予定でおります。また、現在記載しております文章の言い回しや、用字・用語等につきましては、今後精査してまいります。

なお、先ほど説明いたしました総合戦略の1ページ目、2ページ目は総合計画本冊の後期基本計画が始まるページの先頭に掲載いたします。そして、1ページ目から最終ページまでの全ページを総合計画の資料編に挟み込む予定としております。

説明は以上となります。

御説明ありがとうございました。

藤井会長

大きく審議事項として御意見いただきたい点は、2点あるかなと思っております。

1点目が資料1-1、1-2で御説明をいただきました、前回の第4回で改正骨子案の審議をいただきまして、それに基づいて、各基本目標ごとに細かな文章のところを作成いただきました1-2の資料に当たる素案の部分を全て説明いただくと時間がかかりますので、まとめた資料が1-1という形で、今御説明をいただきました。

ですので、この点についての、まず、審議、御意見というところが1点だと思います。

続いて、2つ目が総合戦略ということで、御説明をいただきました資料2から当たる部分かなと思います。こちらは総合計画と一対になって審議、進めていく事項ということで、今御説明をいただいた内容になるかなと思います。

まずは、資料1-1のところから、委員の皆様から御意見ございましたら、挙手をいただいて、御発言をお願いできればと思います。いかがでしょうか。

釜田委員、お願いします。

釜田委員

釜田です。

資料1-1について、中身というより表面的な確認なんですけれども、前回私、審議会のほうに出席できず、誠に申し訳なかったんですけれども、そこで御審議いただいたということで、資料1-1の「2 後期基本計画期間で新たに取る主要な施策」というところで、ここで実際取り上げられている施策というのは非常に重要でかつ、かなり魅力的な内容を含むものだと思います。いろいろ具体的な提案みたいなものも、説明部分で含まれていまして、実効性の高さみたいなものも感じます。

表面的な確認というのは、この資料1-1そのものは割と具体的な施策というのか、計画というのが盛り込まれていて、非常にいいと思うんですけれども、あくまでもこの資料1-1というのはあらましですから、資料1-2のほうの基本計画の本体、こちらでさらに、ここで書かれている以上に、具体的あるいは詳細にその施策の内容が記されているべきだと思うんです。

そこで、一つひとつ、私、全部チェックしたわけではないんですけれども、例えば2の「(5) 高齢者が外出したくなる「楽しい」環境づくり」、この2番目の外出に役立つ公共交通の再編・効率化というところで、私も勉強不足で初耳だったんですが、デマンド交通チョイソコやとみというものができていまして、これは非常にアイデアとしてはいいなと思うんですけれども、これが基本計画、資料1-2のほうでは触れられていたりするのでしょうか。

ここだけじゃないかもしれません。様々な具体的な取組がこの資料1-1のあらましの中で登場するんですが、やはり、全て資料1-2の本体のほうに出ない、出てくるだけじゃなくて、さらにもう少し詳しく説明するとかでないと、これも全体的な構成として、やや整合的じゃないかなと思いましたので、その点、確認させていただければと思います。

藤井会長

釜田委員、ありがとうございました。

	<p>資料1-1に書かれている内容というのは、基本的には1-2の赤く書かれているところの部分をまとめられてということにはなるかなと思うんですが、必ず1-2の資料の中に存在するかどうかというところの確認がまず1点という。</p>
釜田委員	<p>そうですね。何かさっきのチョイソコやとみというのは、私としては見つけることができなくて、資料1-2のほうで。</p>
藤井会長	<p>恐らく、外出に役立つ公共交通の再編・効率化。</p>
釜田委員	<p>何か資料1-2のほうで抽象的な表現になっちゃっているところが目立つのかなというふうに逆に思ったんです。</p>
藤井会長	<p>佐藤さん、お願いします。</p>
事務局（佐藤企画政策課長）	<p>企画政策課長の佐藤です。</p> <p>先ほど、釜田委員のほうから御指摘がありましたチョイソコやとみ、こちらのほうの文言につきましては、確かに資料1-2には入ってございません。といいますのも、今年度、実証実験をやっている途中のこともありまして、今後、これがどうなっていくかというのは、この実証実験を踏まえた上で今後の取組になっていくということで、その言葉は入っておりませんが、資料1-2の46ページとか、コミュニティバス等の公共交通の効率化とか、そちらのほうでまた、こちらのほうをどうしていくかというところが今後の施策として反映されてくるであろうかと思えます。</p> <p>そのほかのものにつきましても、全く同じ言葉として使われていない部分もあろうかとは思いますが、例えば、図書館とかでもそうですし、この言葉どおりのものではないんですけれども、それぞれその資料1-2の中で記載しております内容を今後精査し、検討しまして、主要施策のほうに盛り込んでいきたいと思っておりますので、分かりにくくて申し訳なかったんですけれども、チョイソコやとみについては、先ほど御説明したとおりになります。よろしいでしょうか。</p>
藤井会長	<p>御説明ありがとうございます。</p> <p>基本的には、それぞれ書かれているものは、どここの主要施策3の幾つかというところに当てはまるような形で書かれているものという認識で間違いはないかなと思います。ただ、その文言については、必ず一致している表現ではないものもあるという部分で、こちらの資料1-1にだけあるというところは、ちょうどこのチョイソコやとみは文言としては出ていましたけれども、ほかのところは基本的には、資料1-2から持ってきているものという認識でよろしいかなと思います。</p>
釜田委員	<p>よろしいでしょうか。表現が完全に一致している必要はないんですけれども、あらかし</p>

藤井会長	<p>のほうが具体的で、本体のほうが抽象的な表現にとどまっているというのは、逆にちょっと残念な感じもして、やっぱり本体が本当の施策というのを示していると普通見ると思いますので、その辺を少し、表現を全く一致させたほうが良いということではなく、御検討いただければなど。抽象度の部分のお話です。</p> <p>ありがとうございます。今後の「主要事業」の部分での具体的な事業の記入は、具体性がだんだん出てくる部分との関連もあるかなと思いますけれども、釜田委員がおっしゃっていただいたような、より具体的なところが施策の中で、文言として盛り込まれているというところが御意見かなと思います。ありがとうございます。</p> <p>そのほか、委員の皆様から御意見いただければと思いますが。</p> <p>東嶋委員、お願いします。</p>
東嶋委員	<p>今の釜田先生の部分と同じような疑問なんですけど、今のあらましのところの「(6) 産業・農業の振興、賑わいづくり」というの、ありますよね。そこの1番目の丸のところ、JR・名鉄弥富駅自由通路及び橋上駅舎化事業等の着実な推進の中の最後のところに、2段目の後半なんですけど、車新田地区土地区画整理事業の整備の着実な推進というのが、ここに載ってきているんですが、今のと同じだと思うんですが、総合計画の中には、やはりこれも、どこを見ればいいのかなどというのを思ったのと、それから、これを見て、本体見て思ったことは、今、コンパクトシティとか、いろんな言葉が出てきている中で、ほかの分野にも関わるんですけど、小中学校のほうも今再編をして、小さい学校と一緒にするという話になってきている中で、新しい住民の方たちを、という話を進めるに当たっても、実際に今、住居関係がどんな状況になっているかということで、この車新田の今の進捗状況とか、どこまで進んでいるのかなということをお聞きしたいと思うんですけど、お願いします。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>お願いします。</p>
立石建設部長	<p>建設部長の立石です。</p> <p>車新田の土地区画整理組合につきましては、現在、組合の設立に向けた準備段階で地元住民や地権者の方などを交えまして、意見交換や説明会などを行っておりまして、準備段階で事業をお手伝いいただける方の事業募集を近々していく予定でありまして、近々組合設立に向けて今進めているところでございます。</p>
東嶋委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>それで、そこを進めると同時に新しい住民の方のことよりも、今住んでいる私たちの子どもたちが住めるようなところも増えていくような方向を考えていきたいなという、これは希望です。よろしくお願いします。</p>

藤井会長	<p>東嶋委員、ありがとうございました。</p> <p>1-1の資料の(6)の一番上のところですけども、恐らく目標5-4の2に当たる部分になるかなと思いますが、そこの中には、車新田地区という言葉は今入っておりませんが、今後の実施事業等の中で、どういうふうに文言を入れるかは検討事項かなと思います。ありがとうございます。</p> <p>高谷委員、お願いします。</p>
高谷委員	<p>高谷です。この文章を全体的に見まして、よくできた文章だとは思いますが、実際いろんな中で、産業振興課とかいろいろ書いてあるんですけど、所在は書いてあるんですけど、中間の主要事業と書いてあるところがあるんですけど、その辺が何も書かれていなくて、それと時間的なもの、いつまでにどうするかとか、そういうのと責任の所在が何にもないような感じがするもので、その辺は今度、協議するときに見直してほしいと思います。特別なんですけど、文章自体は具体性にちょっと欠けるというか、そういう感じがするもので、全てにおいて、要するに、誰がいつまでにやるとか、そういうあれが何にも入っていないもので、計画としてはいいと思うんですけど、その辺はちょっとお願いしたいと。</p>
藤井会長	<p>佐藤課長、お願いします。</p>
事務局（佐藤企画政策課長）	<p>御質問の内容ですけど、主要事業につきましては、次回の審議会で提示のほうさせていただきますのでお願いいたします。</p> <p>計画期間は令和6年度からの5年間になりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>以上です。</p>
高谷委員	<p>いや、だから始める時間ですね。この計画に対して、いつから始めていつぐらいまでに終わるといった具体性がないということですね。具体性がないのと、どこの部署がやるかと、責任持つかと、それが書かれていないのがちょっと疑問だなと私は思っております。</p> <p>文章自体とか、計画とかは非常によく練られておると思うんですけど、個々については、私はあんまり細かいことを言いたくないんですけど、全体の文章として、その辺をもう少し考えていただいたほうが実効性があると思いますので、その辺、次回のときからよろしくお願いいたします。</p>
藤井会長	<p>佐藤課長、お願いします。</p> <p>企画政策課長の佐藤です。</p>
事務局（佐藤企画政策課長）	<p>先ほどの計画期間の話ですけども、この後、実施計画というものを定めますので、この実施計画のほうでやっていきますので、そちらのほうできちんと計画期間を定めてやってい</p>

高谷委員	<p>きますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>
藤井会長	<p>高谷委員、ありがとうございました。</p> <p>実施事業の中のそれぞれにおいて実施計画が立てられて、どれぐらいのスパンの中で計画を立てて実施するかを決めていかれるかなと思います。</p> <p>これは、5年間の計画になりますので、恐らく前期の中の議論でもたくさん出ていたPDCAで、しっかりやった事業のチェックの大切さも大変議論されていたかなと思いますので、毎年度実施計画の中で見直ししながら進めていくというところが5年間での進め方になるのかなと思います。貴重な御意見ありがとうございます。</p> <p>そのほか、委員の皆様から御意見いかがでしょうか。</p> <p>手嶋委員、お願いします。</p>
手嶋委員	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>先ほど釜田委員と東嶋委員から発言がありました、後期基本計画のあらましとそれから基本計画の「現状・課題」及び「主要施策と概要」、「主要事業」といったところ、ここの対応がちょっと不十分な部分があるという御指摘があったんですけども、それは同感なんですけれども、後期基本計画の素案のほうは、いわゆる総花的な施策が展開されていて、そういう意味では、この基本計画のあらましで書かれている新たな主要な施策のところをやっぱり加えていくというのは非常に大事だと思います。</p> <p>それと、もう一つ、資料1-2の素案のほうなんですけれども、このまとめ方についても提案したいところなんですけれども、「現状・課題」のところ、これは算用数字に片括弧で、項目に分けて説明されているんですね。そして、それに対する「主要施策と概要」それから「主要事業」という形でまとめるという形で、基本的には対応させて、まとめられていると思うんですけども、そうなっていないところが幾つかあるんですね。</p> <p>前期の計画のときにも部分的にそういう対応関係が崩れているところがあって、それを踏襲しているところもあったりするものですから、読んでいてもごちゃごちゃになっていて、何がどうなっているのかよく分からない、しっかり読まないと対応関係がつかないようなところが結構あるので、そこところは、まとめるときに、しっかりと対応関係をつけて、その1)、2)、3)と説明したものに対して、主要な施策という形で、(1)、(2)というような形で、それぞれ対応させてまとめていただけると、読みやすい、分かりやすいかなと思います。</p> <p>その点、次回までに何とか、大変お忙しいとは思いますが、精査してまとめていただけるとありがたいかなと思います。よろしくお願いいたします。</p>
藤井会長	<p>手嶋委員、ありがとうございました。</p> <p>素案のところで「現状・課題」がそれぞれ書かれていて、もちろんこれに基づいて、「主</p>

	<p>要施策と概要」が書かれているんですけども、番号として対応していないという部分での分かりにくさが御指摘のポイントかなと思いますので、恐らくこの「現状・課題」のどこかで「主要施策と概要」が書かれていることだと思いますけれども、それが分かりやすく表現されたほうがいいかなというところかなと思います。</p> <p>佐藤課長、よろしくお願いします。</p>
<p>事務局（佐藤企画政策課長）</p>	<p>企画政策課長、佐藤です。</p> <p>前回お示しさせていただいた後に、事務局のほうでも、可能な限り、1)のほうと主要施策の(1)と整合できるようには努めたんですけども、その中で主要な事業として取り扱える部分と、なかなかそこを取り入れられない部分等々もありまして、今、このような形となっておりますので、申し訳ございません。確かにリンクしていれば一番見やすいかとは思いますが、現状が今、取りまとめた結果がこのようになっておりますので、御理解をお願いしたいと思っております。</p>
<p>手嶋委員</p>	<p>よろしいですか。</p>
<p>藤井会長</p>	<p>お願いします。</p>
<p>手嶋委員</p>	<p>番号が違う場合は、やっぱり対応関係が難しいというところがあるので、どこかに入れてもらう形とかでまとめてもらうといいんですけども、一応その数は合っているんですけども、数が合っていないところですね。これも、やっぱりちゃんと例えば「現状・課題」のところをまとめるというような形で、その「主要施策と概要」、「主要事業」のところとのグルーピングを図ることによって、かなりまとめられるのかなという気がするんです。</p> <p>例えば、資料1-2の23ページのところに地域福祉の充実という話があるんですけども、ここには赤い字で書かれているのに、新しくちょっと前期のものからプラスしているところがあるというんですが、これ、順番に1)から8)のものが具体的にどこに入っているのかというのが非常に分かりにくかったんですが、1)については、1番目のところで、あと2)と3)が(3)に入るのかなと思うんですね。</p> <p>それからあと、4)が(2)で、あと残りの部分が(4)というような、そんなような形で、例えば、グループ化すればうまく対応がつくのかなと思います。</p> <p>それを全体的にやっていただかないと、読む側としては、どういう対応になっているのかというのがよく分からないということがありますので、よろしくお願いしますということで。</p>
<p>藤井会長</p>	<p>手嶋委員、ありがとうございました。</p> <p>佐藤課長、よろしくお願いします。</p>
<p>事務局（佐藤企</p>	<p>企画政策課長の佐藤です。</p>

画政策課長)	<p>委員御指摘のところでございますので、もう一度、可能な限り精査のほうさせていただきまして、次回、御提示させていただきますので、よろしく願いいたします。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。分かりやすいように整理ができているとよろしいのかなと思いますので、その方法は少し検討しながら表現していければと思っております。</p> <p>手嶋委員、ありがとうございました。</p> <p>釜田委員、お願いします。</p>
釜田委員	<p>今の手嶋先生の御指摘と同じ話なんですけれども、さらに付け加えさせていただくと、この素案のところで、赤字で示されているというのは、これは前期基本計画から、加筆修正した部分という理解でよろしいでしょうか。その「現状・課題」と「主要施策と概要」、これの対応関係、手嶋先生おっしゃっていましたが、でも、「現状・課題」で、要するに赤字部分で、今回付け加えられている箇所というのが様々あるわけなんですよね。</p> <p>例えば、11 ページの1-5の施策目標5、環境対策の推進。「現状・課題」の8) というのはこれ全て赤なので、まるっきり今回、付け加えられているわけですね。クーリングシエルトの話なんですけれどもこれに対する施策というのが存在しない。つまり、「主要施策と概要」のほうは、ほとんどこの前期基本計画から、ほぼ変更がない。「現状・課題」が変わっているのに、施策が変わらないというのはおかしいので、この8) に対する何か施策というのがやはり示されるべきだと思います。</p> <p>ほかにもそういうところって、幾つかあったりしたので、もう一つだけ挙げさせていただくと、42 ページの、4-4ですね。施策目標4、雇用対策・勤労者福祉・消費者保護の充実の「現状・課題」の5)、これも全て赤ですので、新しく付け加えられた部分だと思うんですけども、やはりこれに対応する施策というのは出てきていないような気がします。</p> <p>やはり、新たな課題というのが見つかったということですから、それに対してどうするかというのをなかなか全てすぐに、適切な解決策というのが見つかるとは限らないのだとは思いますが、できる限り御検討いただければと思います。</p>
藤井会長	<p>釜田委員、ありがとうございました。</p> <p>「現状・課題」のところで追加になっている部分が、どう「主要施策と概要」のところに落とし込まれているかという部分で、今の中だと表現されていないところもあるという御指摘だったかなと思いますので、対応の部分と含めてその辺の精査というところも必要なのかなと思いました。</p> <p>そのほか、委員の皆様からは。</p> <p>今井委員、お願いします。</p>
今井委員	<p>私はこのあらましが、具体的に今ちょっとずつ進行しているよということが挙がってきているものを書かれているのかなと思ったんですよ。なので、多分、各課でこういう意見が出ていて、こういうふうに行進しているよというのが、具体的に挙がっているものがここに</p>

	<p>示されているのかなと思って見ていました。</p> <p>その中で、防災イベントの開催というのを今後、事業として取り入れていただくことになると思うんですけど、このイベントとかやるだけで時間もかかるし、お金も大分かかると思うんですけど、何か1つ気軽にできる、2学期からでもできるものが1つありまして、防災のカードゲームというのが今あるそうで、この前テレビで見たんですけど、フダコマ広場という防災（カード）ゲームがあって、これを各クラスじゃなくても、各学年に1つあったりすると、気軽に休憩時間とか、そういうタイミングで子どもたちがもっと身近に防災を感じられるアイテムがあるといいなと思いました。</p> <p>明日にも来るかもしれない防災に備えて、来年度の施策に加える前に、何か取り入れてもらえたらなという希望も込めて発言しました。</p> <p>以上です。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>楽しい防災イベントの開催という中で、今後の実施事業の中のより具体的な1つの御提案という形でお話しいただいたのかなと思います。ありがとうございます。</p> <p>大学にも防災のカードゲーム、ありますけれども、楽しくやれますね。ありがとうございます。</p>
今井委員	<p>そうですね。10歳からいけるそうです。</p>
藤井会長	<p>そうですね。いろんな種類ありますもんね。ありがとうございます。</p> <p>東嶋委員は、よろしかったですか。</p>
東嶋委員	<p>今言われたことと同じことなんですけど、そもそもこの素案の読み方なんですけど、今お話ししていて、そういうことかなと思ったのは、「現状・課題」というのが今出てきたことを書き上げていて、下というかその後にある「主要施策と概要」というのは、今現在、こんな施策をしているよという概要の説明と捉えればいいのかなんて思ったんですけど。なので上と下が合わなくても、合わないこともあるのかと。要するに、今、課題がどんどん出てきているので、これが増えていくことはもっとあるのかなと思って。その辺の読み方がもう少し分かりやすかったらよかったのかなと思います。</p> <p>以上です。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>恐らく、今後の「主要事業」の中に入ってくると、いろんな課題がある中で実施ができるもの、そうでないものも表現されていくのかなと思います。必ず課題全てに対して対応できるかというところもあるかなと思いますので、その辺が「主要事業」と合わさってきて、「主要施策と概要」の中でこれをやるというふうに整理されていくと分かりやすくなるのかなと思います。ありがとうございます。</p>

<p>入江委員</p>	<p>入江委員、お願いします。</p> <p>素案の取りまとめ、お疲れさまでございました。拝見いたしまして、全体的に、すごく時宜にかなった、非常に社会的ニーズの高いことがきちんと盛り込まれているなど、まずは全体を見て感じました。御苦労さまでございました。</p> <p>その上でなんですけれども、先ほども意見が出ておりますけれども、「現状・課題」のところ、例えば資料1-2の素案の1ページを「現状・課題」のところを上から順に読みますと、本当にこの順番でいいかなという印象を持つんですね。というのは、例えば(1)のところ、加筆していただいている赤字の部分は、かなり細かなことも書かれています。通常でしたら、もう少し例えば大きな事柄から書いていって、細かな事象に落とし込むというのが、ごく一般的な書き方かなと思うと、もう一度整理をいただいたほうがいいのかと思うところと、それから「主要施策と概要」とのマッチングですけれども、これはばっちり合うというのはなかなか難しいと思いますが、例えばこの「現状・課題」のところ、段落終わりの文末のところに該当する主要施策何番というふうに入れていただくと、読み手としても分かりやすいのかなと思いました。</p> <p>それから、あと何点か、細かいところで恐縮ですが、少し気になりましたので、意見を申し上げますと、例えば、素案の13ページ、基本目標の2ですけれども、この子育て支援の充実、こここのところにぜひ入れていただきたいと思うのが、せっかく子育てするなら弥富ということがキーワードでもありますので、地域社会全体で子育てを支援あるいは応援する意識の醸成というようなことを、ぜひそういったニュアンスを入れていただきたいと思いました。</p> <p>それから、25ページの教育・文化・スポーツの最初、施策目標1、学校教育の充実なんですけれども、これは後ろの青少年の健全育成とか人権啓発のほうとも関連すると思うのですが、私、市外の者ですので、こういうことを申し上げやすいのかもしれませんが、市内では2021年に中学校で大変痛ましい事件がありました。やはりあれを忘れてはいけないということです。事件のことを風化させてはいけないという想い、強く皆さん当然持っていらっしゃると思いますけれども、そういった命を大切にすることをぜひどこかに入れていただきたいと思いました。</p> <p>それから57ページの協働・行財政のところですね。施策目標の1、持続的な行財政運営ですが、1)の下から4行目ぐらいのところ、赤字で「選択と集中」を凶るとあります。このキーワード、大変、国政でもよく出てきておりまして、国交省なんかは非常によく用いておりますけれども、私、これはかなり覚悟の要るキーワードだなと思っておりまして、とりわけ行政の中で、「選択と集中」を凶るということは、選択されない、集中されない地域が出てくるということの裏返しですので、やはり丁寧な説明と合意形成が必要だということをごどこかに入れていただきたいと思います。</p> <p>それから、その次の59ページの施策目標2、市民協働の推進です。最初の1)の2行目ですが、限られた予算や人材の中で行政サービスを継続していくには、というそういう流れで協働という説明があるんですけれども、確かにこれは実際のところだと思うのですが、こう</p>
-------------	--

いうふうに書かれると、市民が行政の下請になるのかなというようなイメージに取られかねないと思いますので、本来的にはやっぱり協働というのは、住民自治の実現のために、市民の知恵を絞っていただいて、行政運営に活かすということかなと思いますので、こういう文脈で書いていただければ大変ありがたいなと思います。

それから、たくさんあってすみません。61 ページの施策目標 3、男女共同参画の推進のところですが、この中の主要施策のほう、(1) です。赤字で追記されているところですが、女性の活躍のための研修等を実施します、とありまして、それ自体に反対ということでは全くないのですけれども、やはりどちらかという、女性向けというよりも、管理職向けにぜひお願いしたいということですね。つまり、職場での働きやすさ、これはもう女性に限らずですけれども、誰もが働きやすい職場というものをつくっていくということが、これから女性だけに限らず、皆さんの働き方ということでも一番望ましい方向かと思いますので、女性でも誰でも活躍できるような職場風土形成のための研修、そういうことをぜひ管理職の方にお願ひしたいと思っています。

以上です。

藤井会長

入江委員、ありがとうございました。

それぞれの「現状・課題」等での細かな表現のところの御指摘をいただいたかなと思います。ありがとうございます。

お願いします。

鈴木委員

38 ページ。施策目標 2 の商工業の振興なんですけど、盛り込んでいただきたいのが、商工会との連携というところを、もう少し踏み込んだ表現をしていただけると。前期計画でも、この商工業振興について何やっていますかというのは、確か質問したと思うんですけど、そのときも商工会さんと連携をしてというか、どっちかという、商工会さんを支援しながらみたいな回答だったと思うんですけど、具体的にじゃあ、商工会さんと一緒に何やったんですかといったら、なかなか答えが出てこなかった印象だったので。

結局、この後期についても、商工会と連携していくとなると、商工会に丸投げみたいなことになっちゃわないかなというのを心配します。なので、今日、ただ、商工会の会長が来ていないからあれですけど、もうちょっと具体的に連携して、より密接な動きを取るような意思表示をいただけるとありがたいなと。

あと、どうしてもこの商工業の振興という、助成とか補助とか、大事なことなんですけど、お金の面に関する支援が中心になりがちで、なかなかソフトの面というか、経営のあるべきとか、上手なやり方とか、うまく経営していくその辺の教育というか、ノウハウというか、そういうのも、ソフトの面もちょっと拡充していけるようなサービスをそれこそ商工会さんと連携するか、あと、ただ商工会さんに所属していない業者さんはどうしたらいいのってところがあるので、そこはやっぱり、市としてどうしていくんだというところがあるかと思うので、その辺をお願いしたいと。

例えばこれ、新規出店を補助するというのもすごくいい施策だと思うんですけど、大事な

のは、続けられずに撤退するという、駅前なんかもそうですよね。新規出店したなどと思ったら何か月かしたら、また空き家になっているみたいなことが、ここ何年かずっと確か弥富駅前はあるように思うので、そういう中で、新規出店の補助だけじゃなくて、どうやって商売として成り立っていくか、継続させていくかというような、支援の部分もちょっと視野に入れていただいて、それがだから別にお金の支援じゃなくても、そのノウハウ的な経営をうまくとか、逆に、行政として何か広報してあげるとか、その辺り、せっかくこの制度を使うのであれば、そういうサポートもセットでお願いしたいなというのがあります。

50 ページ、市街地の整備ということで、先に、その下「主要施策と概要」のほうで、駅前のポテンシャルを最大限に活かし、人が行き交い、賑わいがもたらされるまちづくりを推進しますということで、この駅前整備事業を指しているんだと思うんですけど、1つ疑問なのは、そもそも賑わいって何ですかという。市として賑わいをどう定義しているかというのをちょっと知りたいと。

でも、それはよく言いがちなので、どこの行政もそうだと思うんですけど、取りあえず賑わいます、賑わいをもたらしますって、便利な言葉だから使うけど、それを弥富市としては、どう解釈して、どういう状態が賑わいのあるというのを定義づけているのかって、そうじゃないと何か市民でも、ちょっと流入する人が増えたらそれは賑わいなのかとか、お店が増えたら賑わいなのかとか、共有されていない感じなんですね。

やっぱり、かつての方からすると銀座商店街が人も肩が歩くのにもぶつかってどうしようもないぐらい、すごい賑わっていたというのを、やっぱりどうしてもイメージする方もいらっしゃるでしょうし、その時代を知らない方は、どこが賑わうというところと分からないですけども、若い人だと、何かフェスがいっぱいあってみたいな感覚なのかもしれないですし、なので、ちょっとその辺の賑わいという位置づけがいつも曖昧に思うので、それを定義づけ、なかなか難しいかもしれないですけど、してほしいというのと、それからあと駅前整備事業に関しても、もう進行しちゃっているんで、今どうこうということではないんですけど、前期の計画に、重要課題としてありましたっけというところがあって、いや、見ていたんですけど、これ前期から。それも都市計画のところ、ちゃんと書いていなかったのが、急に出てきたような唐突感が若干あって、その辺の違和感が若干あるんですけど、なので今回も、例えば計画をこうして最後つくりますけど、期間中に、突発的にどうしても、緊急事態、緊急的に優先順位が上がるものがあるのも確かにあり得るんですけど、そうやって、ないものがいきなり出てくるというときには、本当に丁寧な説明をしていただきたいというところがあります。

今回のその駅前整備事業に関しても、説明会はされました。それは私も参加しているので聞きに行ったんですけど、その中で、ものすごくいろんな質問とか意見とか、ほぼほぼ反対でした。

ただ、それでも、事業は大事なことから進行しますということで、進行しているんですけど、質問に対して回答が、とか2回目の説明会はするかといったら、いや、しない。何となく個別の質疑応答ぐらいで終わっているような格好があって、その情報の共有とか市民側からの質問に対する、回答の丁寧さとか、この事業に関しては、ちょっと欠けている部分

	<p>があって、言いにくいことだと思うので、それを理解はするんですけど、それでもやっぱり、言いにくいことだからこそ、しっかりと丁寧に説明があるんじゃないかなと思います。</p> <p>得てして、情報発信、今後、しっかりやっていきますというところなんですけど、いろんな情報が今までも共有はなかなか、発信が足りていないというのは実感がある中で、それを一生懸命やっていただくのはすごくいいことなので、ぜひ進めていただきたい中で、悪い情報ほど早くほしいという。いい情報はぼちぼちで、民間の経営もみんなそうなんですけど、本当に悪い情報こそ素早く共有してやらないと、後でえらい目にいくってなるので、やっぱりその辺りの情報の扱い方の意識もよろしく願いますってところですね。</p> <p>もう一個いいですか。</p>
藤井会長	はい。どうぞ。
鈴木委員	<p>具体的には次回ということでは言われている総合戦略のほうで挙げられている項目は、非常にすばらしい項目、一つ一つがもっともだなと思うのでいいんですけど、例えば、重点項目5のDXで暮らしを豊かにするというので、何のためにとって暮らしを豊かにすることをいろいろ書いていただいています。例えばの数値目標が、これ、事例なんですかね。また具体的になるんですかね。住民票の写し及び印鑑登録証明書のコンビニ交付枚数がその何枚というのを数値目標に挙げられているんですけど、これ、一番最初に来るといって、この住民票がコンビニで交付されることが、住民が豊かな暮らしを感じる答えになるのかというところが、ちょっと疑問なので、数値目標とか目標を掲げる部分については、もう少し知恵を絞っていただきたい。</p> <p>子育て、出産のところで出生率は、弥富市独自で上げるみたいなのは理解はするところはありますけど、これだけじゃないというところがやっぱりあるから、どういう目標を掲げていくかというのは難しいところだと思うんですけど、何のためにとっているところに沿う目標値を上げていただければなと思います。</p> <p>弥富市への人の流れをつくとあるのも、観光客を増やすみたいなのがあるけど、弥富市って、そもそも観光都市目指してましたっけみたいなのがあるので、人の流入って観光だけではないと思うので、そういうところの数値の上げ方とかですね。</p> <p>戦略に関する今後のところだと思うんですけど、設定とか具体的な施策は、もうちょっと目標というか、掲げたものに合うことをお願いしたいです。</p> <p>以上です。</p>
藤井会長	<p>鈴木委員、ありがとうございました。</p> <p>よろしく願います。</p>
立石建設部長	<p>建設部長の立石です。貴重な御意見ありがとうございます。</p> <p>まず、賑わいの定義につきましては、委員おっしゃるとおり、非常に難しいものがございますので、市の中でもしっかりと一度審議させていただいて、定義づけについては少し検討</p>

鈴木委員	<p>させていただきたいと思います。</p> <p>次に、駅前整備についての前期基本計画での記載についてですけど、114 ページに記載されておりまして、右側の（２）番に、市街地計画整備の重点施策ということで書かせていただいておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p>
立石建設部長	<p>見逃しまして、すみません。</p> <p>あと、説明会につきましては、２回目につきましては、今のところすみません、正直、考へてはなかった部分があるんですけども、そういった御意見をいただいたということで、少し中で協議のほうさせていただけたらと思います。</p> <p>以上でございます。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>賑わいの定義というところは、なかなか難しさがあるかなとは思いますが、計画の中で目指す方向性を示していく中では、この表現を必ず使う使わないもあるかもしれませんが、分かりやすくというところは大事なポイントなのかなと思いました。</p> <p>と、駅前の事業のところは、どう計画の中で表現するかということが、この審議の中では大事なポイントかなと思いますので、また、具体的な事業実施事項も含めて、御議論できればと思っております。</p> <p>今、鈴木委員のほうから総合戦略のところの御意見もいただきましたけれども、一旦この資料１、２の計画の中での御意見がまだございましたら、そこを御意見伺って、２つ目の総合戦略に移りたいなと思っておりますけれども、委員の皆様、いかがでしょうか。よろしかったでしょうかね。</p> <p>各委員の皆様からいただいた御意見を私も一個一個メモしていましたが、たくさんでちょっとメモし切れなくなって、今整理はできていませんけれども、今いただいた御意見のところで、具体的に書かれている「現状・課題」、それから「主要施策と概要」というところの表現をもう一度検討をしていくような形で考えていければと思います。</p> <p>それでは、２つ目の総合戦略に当たる部分で、委員の皆様から御意見等ありましたら、挙手をもって御発言いただければと思っております。</p> <p>釜田委員、お願いします。</p>
釜田委員	<p>全体的な話なんですけど、そもそもタイトルがデジタル田園都市構想総合戦略ということで、デジタルという言葉が使われていまして、ほかにも様々な横断的目標のところも、デジタル社会と、そのデジタルというのがまず、非常に重要なキーワードというか、今回の総合戦略の上で、デジタルの力を活用するというのがポイントになってくるんだと思うんですけども、その重点戦略を見ていきますと、重点戦略５は、DXで暮らしを豊かにするという事なので、まさにそのデジタル化とかデジタル社会とかということと直結してくると思います。</p>

<p>藤井会長</p>	<p>ただ、ほかの重点戦略1から重点戦略4、内容そのものは非常に重要な点がいろいろ盛り込まれていると思うんですけども、デジタルの力を活用するという点について言いますと、ちょっとそこが見えにくいですね。そもそもデジタルという言葉が、重要戦略1から4までは出てこないということなので、こういった戦略を実行する上で、そのデジタルの力をどのように、どの部分で活用していくのかというのをもう少し分かりやすく盛り込んでいただけたらと思います。</p> <p>以上です。</p> <p>釜田委員、ありがとうございました。</p> <p>この総合戦略においては、デジタル田園都市というところで、基本目標1から6を横断的に関わる部分がデジタルの中では出てくるという部分で各計画の中の施策が戦略の中の位置付けに当たるといふ部分に整理されていくかなというふうに思いますので、その辺の分かりやすさというか、見やすさというところは表現としては、必要になってくるのかなと思いました。</p> <p>佐藤課長、よろしくお願いします。</p>
<p>事務局（佐藤企画政策課長）</p>	<p>先ほど御指摘のデジタルの関係なんですけれども、確かに1から4のところではデジタルという言葉が出てこなくて分かりづらい部分というところがあるかと思っておるところでございます。デジタルにつきまして、手段としても捉えておりますところもありまして、背景にはデジタルがあるというところで考えておりまして、このような表現となっておりますので、なかなか難しい部分ではありますけれども、一度考えさせていただきたいと思っております。すみません、よろしくお願いします。</p> <p>それと、先ほどの数値目標につきましては、こちらのほうの指標につきましては、あくまでも客観的な指標というところで捉えておりますので、こちらのほうの今のところの数値目標、これが全てというわけではございませんけれども、客観的な指標ということで、こちらのほうを取り上げさせていただいておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>以上です。</p>
<p>藤井会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>数値目標等のところは計画の実施事業の中にも関わる部分かなと思いますので、それと一対に検討しながら、この戦略と計画、それぞれの指標という部分を整理していく必要があるかなというふうに思います。</p> <p>手嶋委員、お願いします。</p>
<p>手嶋委員</p>	<p>補足になるんですけども、この弥富市デジタル田園都市構想総合戦略ですけれども、これはこれまでのまち・ひと・しごと創生総合戦略というものがあって、これは基本的には国の交付金事業に対応するものであったわけですね。これが新しく今度はデジタル田園都市構想総合戦略という形で、国の事業として、後継的な事業という形になってきたということで、</p>

	<p>基本、交付金事業、交付金を取るというのが主目的の計画策定ということになるかと思えます。</p> <p>その計画を、国の交付金事業や補助金事業なんかに対応して、一々計画を立てていたら、比較的規模の小さい自治体だともう事務負担が非常に大変ということがあって、基本的にこのまち・ひと・しごと創生総合戦略にしてもそうなんですけれども、総合計画とほぼ同じようなもの、多少メリハリをつけないといけないというところはあるんですけども、ほぼ同じようなものを別個につくらないといけないということは非常に無駄が多いということで、総合計画の中に盛り込んで、必要に応じて切り取って、交付金事業に対応するというところで、今回というか後期の総合戦略の中では一体的に審議していただくという形で進めてきているものなので、そういう意味で御理解いただければと思います。</p>
藤井会長	<p>手嶋委員、御説明ありがとうございました。</p> <p>まさにおっしゃっていただいたとおりの部分で、同じように戦略を立てていったときには、総合計画とほぼほぼ被る部分の内容ができていくという中で、2つをつくるコストという部分も大きくなってきますので、この総合計画の中に盛り込んで検討していくというところが、今回一緒にこの中で審議をしていただくというところの大事な1個のポイントかなというふうに思います。</p> <p>あとは、デジタルという部分で、横断的に多くの目標の中に関わってくる内容だという部分も、一方で、計画の中に混ぜ込みやすいというところがポイントかなと思いますので、その2点の中で一緒に考えていくというところが、戦略と総合計画というところの位置づけかなと思います。御説明ありがとうございました。</p> <p>清水委員、お願いします。</p>
清水委員	<p>ちょっと今日はこちらで、先約がございまして、中座させていただきます。申し訳ございません。失礼いたします。</p>
藤井会長	<p>清水委員、ありがとうございました。</p>
清水委員	<p>ありがとうございました。</p>
藤井会長	<p>高谷委員、お願いします。</p>
高谷委員	<p>さっきからデジタルという話があるんですけど、今現在としてはAIとか、チャットGPTだとか、そういうのがもうはやってきておるんですけど、市として、実際そちらのほうに関わる場合は、どういう方針でいくのか、その辺、まだないのかもしれないですけど、考えを聞かせてほしいと思います。</p>
藤井会長	<p>特に昨今、チャットGPTの利用なんか、大学もそうですけれども、どういうふうに利</p>

	用していくかというところは、大学、それから自治体さんも。
高谷委員	市としてどういうふうを考えておるかという。
藤井会長	検討はいろいろと議論がされているところかなと思いますが。
高谷委員	その辺、大事やもんね。どう活用するかとかね。まだそこまで市はないかな。
藤井会長	佐藤課長、お願いします。
事務局（佐藤企画政策課長）	企画政策課長、佐藤です。 委員のほうから先ほど上がりましたチャットGPTとか、他市ではいろいろ活用等の話はあるかと思いますが、そちらのほうの活用についてのまだ検討はしておりませんが、当然デジタルの運用等々、今後、関わってやっていかなければならないとは考えております。
藤井会長	ありがとうございます。 なかなか大学もそうですけれども、簡単に答えが出る問いではない問題かなというふうには思いますので、いろんな立場の中で、利用しながら考えていくということを繰り返さないと、本当にうまく利用するか活用するというところまでは、どんな立場でも至らないのかなと思いますけれども、いずれにしても考えていくというプロセスが大事かなと思います。
高谷委員	どう利用するかやでね。その辺がちょっと問題やでよろしく考えてください。お願いします。
藤井会長	ありがとうございます。 そのほか、総合戦略のところ委員の皆様から御意見がありましたら。南谷委員、お願いします。
南谷委員	3ページのところに、数値目標で記載がされておまして、本市の有効求人倍率何倍と、令和4年度 1.41 倍というふうに記載があるんですが、ハローワークでも、労働局でもこの市単位での有効求人倍率というのは発表はされていないところなんですけれども、ここは市独自の有効求人倍率ということなんでしょうか。 一般的には、愛知県全体ですとか、あとハローワークの管轄ごとには有効求人倍率ということで公表されているところなんですけれども、各自治体ごとでの求人倍率というのは、公表はしていないし、求人倍率自体は出していないと自分は認識しているんですが、ここは市独自の求人倍率ということにこだわるのでしょうか。

藤井会長	<p>お願いします。</p>
立石建設部長	<p>建設部長の立石です。</p> <p>こちらにつきましては、ハローワークの数字を流用させていただいて、そちらを目標とした数字で挙げさせていただいているものであります。</p>
南谷委員	<p>この令和4年度の1.41倍というのは、多分これ、ハローワーク津島の3月の数値かなと思うんですが。</p>
藤井会長	<p>お願いします。</p>
立石建設部長	<p>建設部長の立石です。</p> <p>確認させていただきたいと思います。すみません、申し訳ございません。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>数値のところは今後の目標設定にもなりますけれども、どういう根拠でといますか、どこのデータでというところを確実に決めて、載せていければと思います。ありがとうございます。</p> <p>入江委員、お願いします。</p>
入江委員	<p>重点戦略5です。ページでいきますと11ページです。「DXで暮らしを豊かにする」ということで、DXを何のために使っていくか、実装するかというところは、これはもちろんそのとおりだと思うのですけれども、施策の方向性1の業務のデジタル化の説明のところなんです、デジタル技術による業務効率化を図り、とありますけれども、DXを庁内で進められる際に、業務の効率化だけで終わるというような発想では、ぜひしないでいただきたいという思いでおりまして、といますのも、根本的にDXをするという場合には、業務をもととから見直す、何のためにこの業務があるのか、どういった手続が必要なのかというようなことから見直していただくということで、どちらかという、行革あるいは業務の棚卸しに近い作業が必要かなと思っています。</p> <p>先んじて成功された北見市なんかでも、そういったところを根本的に見直しをなさって、非常に先進的なDXということを成功されていらっしゃると思いますので、この機に、これまで手作業でやっていたものを単純にデジタル入力に変えるということがDXではないというようなことを徹底させていただいて、加えて、それに合わせて、ぜひ職員の皆様方の働き方改革、そこにつながるような形でDXを庁内では進めていただきたいなと思っております。</p> <p>以上です。</p>
藤井会長	<p>入江委員、ありがとうございます。</p> <p>DXのところの表現という部分での業務効率化にとどまらず、どう業務を変えていくかと</p>

<p>鈴木委員</p>	<p>いうところがDXの本質かなと思いますので、そういった表現に、この中では変えていくほうが望ましいかなと思います。</p> <p>そして、職員の意識改革のところは、施策の方向性2の中にも示されておりますけれども、技術だけではなく、働き方の意識が一緒に変わっていくというところが、DXを進める望ましい形かなと思いますので、その辺りの表現というところも御検討、進めていけるといいかなと思います。</p> <p>鈴木委員、お願いします。</p> <p>戦略の前に、もう一個、計画のほうで言い忘れたことがあったので1つお願いします。</p> <p>施策目標7の情報の共有のところに関わるのところなんですけど、お願いしたいのが2つ。1つは、これが何となく取組とか現状の発信を頑張りますというところで、とにかく発信、発信、発信って書いてあるんですけど、そもそも発信するためのインプットも、ちゃんとしていただきたいなど。</p> <p>市が現状どうなっているか市民の状況、市内の商工業の状況、もちろん日々の業務の中で、それぞれ担当部課は持っているんでしょうけれども、それが全市的に市役所内でどう共有されているかというところですね。それをもっと積極的に共有し合うような体制を目指していただきたいと。</p> <p>どうしても組織上縦割り行政で、今回のこの発信の関係課が、人事、企画、総務、支所、土木、市民ってものすごい何かいろいろあるんですけど、結局それ、どこがやるのとなると、それぞれですよみたいな格好になっちゃうとは思いますが、各課の取組を刷新するのも大事なんですけど、これをもっと組織横断的に、何なら情報発信チームというか、横串の連携を取れるような組織改革になるような、ぜひしていただいて、情報に関しては、とにかく市役所の職員一人一人が、物理的に無理かもしれないですけど、何聞かれても、それはこれこれ、こうなっていますよみたいなのは分かるというか、つながるとか、全然知らなくても誰それのところ聞けば分かるから、何ていうか情報のワンストップというか、そういうのをできれば目指していただきたい。</p> <p>市の中でも、隣の課が何やっているか分からないみたいなのが、現状、担当レベルではあろうかと思うので部課長レベルの方は、これ、いろいろ部課長会の会議があるから共有はしているかもしれないですけど、やっぱり実際担当の窓口に、前線に、市民とやり取りされるのは、担当の方だったりするので、一職員の方がいろんな情報を共有できるような仕組みをぜひお願いしたい。</p> <p>それから、市が積極的に市の情報をもっと取ると、弥富市のさっきの有効求人倍率じゃないですけど、ハローワークさんは、そんなの出していませんよって、どこからの数字ですかとなるんですが、いやいや、これは市独自で、逆に求人倍率もこれから調べるんですよぐらいな勢いであれば、それはなお面白いことだと思うんですけど、だから、そういうような姿勢を示す気概があってもいいかなと思います。</p> <p>藤井会長</p> <p>ありがとうございます。</p>
-------------	--

	<p>総合戦略のところ、DXに絡む部分で、もう一度総合計画の部分での鈴木委員からの御指摘だったかなと思います。いろいろワークショップでも出た、発信する大切さというところは、議論をされた部分かなと思いますけれども、DXの業務改革の中では、自治体さんに限らずだと思いますが、組織の中での情報共有をどれだけ進めていけるかということも、一方で大事な部分になるということが、鈴木委員の御指摘だったかなと思いますので、この辺り具体的には表現のところを検討するところかなと思います。ありがとうございます。</p> <p>今井委員、お願いします。</p> <p>まだ、この重点戦略4の「魅力的な弥富市をつくる」の数値目標の、市民活動団体の数がどれだけ増えたかを指標にという感じで書かれていて、多分これは仮だと思うんですけど、市民満足度でいいんじゃないかなって。今7割のところ、9割ぐらいになったよとかね。そういうのが一番私たち、市民にとったら分かりやすく、親しみやすく感じ取れるかなって思います。</p> <p>でも団体が増える、増えないとかは、そんなに市民はあんまり気にしていないんですよね。だからこそ、団体がどれだけあるとかも、何をやっている団体があるのかということも、広報とかで紹介されることもあるかもしれないですけど、あんまりそこは気にしていないのかな。多分、自分たちがどれだけ楽しいとか、関わりを持ちたいとか、そういうところが重要であって、もう少しニーズに合った感じで書いていただくといいかなと思います。</p> <p>これも含めて見通しのよい人間関係が弥富市内でできると一番いいのかなと思っていて、結構、あの人と仲がいいからあの人きっとそうだよとか、その人を見ずに頭の中で考えて、もうあの人敵だ、みたいなことを言っている方が多いというイメージがあって、そういうすごく残念だなって思うので一人一人がちょっとずつでも関わりを持てる、多分、市役所の方々もそうだと思うんですけど、なかなかその縦割りで、コミュニケーションが取りにくかったりとかするところも、市役所の皆さんからみんなが仲良くなって、そこから波及されて弥富市民がみんな仲よくなれたら一番いいなって思うので、きれいごとかもしれないんですけど、実現に向けて何かできることがあれば、私もそこに協力していきたいと思うところではあるので、楽しくというのがやっぱりキーワードになってくるのかなと思うので、そこを分かるような形で、市民満足度という形で挙げていただくといいかなと思います。</p>
<p>今井委員</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>具体的な数値目標の1つの提案として、市民満足度がどう変化するかということが、今井委員からの御提案だったかなと思います。</p> <p>どうぞ、鈴木委員。</p>
<p>藤井会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>すみません、今のいい意見だったので。加えるならその重点戦略の全部数値目標的なところをもう、アンケートに沿う市民意識を取ればいいんじゃないかなという気がしました。「DXで暮らしを豊かにする」というのであれば、暮らしが豊かになったと感じますかで、もうそれは、市民がそれはそう思う比率が上がれば、それが正解でしょうってなるし、「結婚・</p>

	<p>出産・子育ての希望をかなえる」というのであれば、弥富市は子育てしやすいまちだと思いますかというのが、それは数字がどこまで上がるかというのが目標になろうかと思ったりするので、それが一番シンプルじゃないのかなと。</p> <p>変ないろんな統計的な数字を持ち込まなくても、どこまで市民に伝わって、それが、トータルで言えば、その満足度につながるかということだと思うので、なかなか難しいかと思えますけど、結構アンケートを取ったりするから、それを活かす意味でも、やっぱり最終的には、言葉をちょっと忘れちゃったけど、やっぱり市民といかに密接に連携していくかということなので、やっぱり市民がどう思っているかを常に職員の皆様には把握していただいて、それに対する施策を適時打っていくというのがあるかとは思っています。アンケートもうまく取って終わりということになりがちなので、そこをうまく使っていくというのはありかなと思いました。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>高谷委員、お願いします。</p>
高谷委員	<p>今の鈴木さんの意見から私もちょっと思うところがあるんですけど、私は区長会のほうの会長をやらしていただいていますけど、自治会とかそういう方面からのいろんな要望とかいろいろなことがあります。それでその中で、市のどこに行き行って言ったらいいか。問題がいろいろあった場合に、どこの部署に、誰に言えばいいかとか、そういうあれが分からないんですよ。</p> <p>できましたら、市のほうの透明化というか、住民と関わるという観点から考えて、やっぱりどの部署がという、その辺の、どういう問題に対してはどの部署というのを回覧でもいいですけど、自治会のほうだとかその辺にも、住民のほうにも回していただければ、少しは風通しがよくなるかなと思いますので。</p> <p>そのことに関して、あと今DXだとかいろいろやっていますけど、まだ住民の方でも高齢化してしまっていて、そのDXのほうに追いつかない人がおるもので、そういうものに関しては回覧で回さなきゃいけないと思うんですけど、やれる範囲としては、DXとかAIとか、その辺を使って効率化していただいて、市役所の中の業務を。それでまた、そういうものに対して、時間とお金と全部かかることですので、そういうのもまた情報発信していただければ、もっとスムーズに、行政と住民とが仲よくやっていけると思うんですけど、そういうふうに一度考えていただきたいと思います。よろしくお願いします。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>佐藤課長、よろしくお願いします。</p>
事務局（佐藤企画政策課長）	<p>企画政策課長、佐藤です。</p> <p>先ほどの今井委員からの「魅力的な弥富市をつくる」というところで、数値目標として、市民満足度をというところで御意見いただいて。確か、私どものほうも当初そのようなこと</p>

も思っておったところでありまして、その中でアンケートは、大体こういう計画をつくる  
ときの5年に1回とか、長期的な数値目標で本当にいいのだろうか、ここについては、中期  
的に目標の数値を確認していく必要があるのではないかとということで考えまして、このよ  
うな市民活動団体というものを挙げさせていただいたんですけれども、御意見もいただいたと  
ころでもございますので、一度また検討したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

藤井会長

ありがとうございます。数値を取る大変さ、難しさもあるかなと思っておりますので、どうい  
う形で、本当にこの計画が実施されているときの市民の方のリアクションをキャッチできるか  
というところは、数値目標以外の部分でも大切な部分かなと思っておりますので、その辺の工夫が  
必要かなと思っておりますし、高谷委員がおっしゃったところでは、決してこの場の委員の中で、  
弥富市役所さんにこうしてああしてということを一方的に言うというよりは、この場はお互  
いに協力しながら、どう弥富市がよくなっていくかというところを議論する場だと思ってお  
りますので、いろんな指摘の中で、こちらからの協力できることを一緒に考えていくことが  
大事な思いました。ありがとうございます。

そのほか、今、総合戦略のところでの委員の皆様からの御意見があればと思っておりますが、よ  
ろしいですか。

一通り、2つの議題のところでは、様々な委員の皆様からの御意見をいただいたかなと思  
います。本当に真剣に考えていただけるからこそ、たくさんの意見が出て、よくなるよう  
に御意見をいただいておりますので、じゃあ、ここをどう整理していくかというところの大  
変さはまたここからある部分かなとは思いますが、御指摘いただいたところを精査し  
ながら、事務局側と相談しながら少し中身は検討させていただければと思っております。

よろしかったでしょうかね。

またこの辺の議論の内容は次回以降の審議会の中でも、御相談させていただきながら、後  
期の計画が最終的につくられていくことを残り3回の中で考えていかなくちゃいけないか  
なと思っておりますので、委員の皆様のお協力をいただきながら進められればと思っております。

今、2つのところの審議事項のところは以上になりますけれども、それ以外のことで、も  
しこの場で委員の皆様から、何か御発言があればというふうに思いますが。

八木委員、お願いします。

八木委員

先ほど、「現状・課題」とか対策、施策に対する問題点がいろいろ出ていたんですけど、私  
の会社もいろいろ自分たちもこういう同じようなことを実は社内でやっています、やっぱ  
り課題って常に回ってきて常にあると。その中で、社内でもやっぱり現状と課題をピックア  
ップして、確かに今回もたくさん数が出ているんですが、当然一遍にこれ、やることなん  
て不可能だと思うんです。

また、現在進行形なものもあって実際それがどこまで進んでいるのかというのが分からな  
くて、もしこれ会社だと、多分倒産、不安で倒産で課題ばかり、何も1つもよくなって  
いないと思います。

私たちもそれに対して、今どういう現状になっていて、課題があって、それをなぜそうな

っているかというところをしっかりと追求して、本来あるべき姿に、どういうふうに戻すんだという形でそれを目標として、私の会社はそう大きくないものですから、1年に1回の課題として、社内で何個かのテーマを出して、それに向けて改善する、そして実行するという形を取っているんですね。

これを見ていると、本当に現状と課題があり過ぎて、それに対する対策が足りなくて、的を絞って、一つ一つをちゃんとこの問題に対してはこういう課題を持って、こういう現状を把握して、なのでこういう対策を打とう、それを実行していこうということで、1つずつ紐づけないと、今僕見ている、これだけの課題をこれだけで全部網羅できるのかという不安が大きくあって、当然いっぱい課題があつていいと思うんですけど、まず優先順位が大事であつて、まず、期間内に絶対できるという。やっぱり実行できないと、ただ単のこの話合いの会議で終わってしまうので、まずは実践できるまでに、どれが本当にできて、どれぐらいの効果が出たというところまでちゃんと見せない、やはり、やった達成感とか、そういったことも見当たらないし、ただ何となくやってこんなふうに終わりましたということで、結果また、何年後同じ課題の繰り返しという形でなると思うので、ちょっと今、自分たちのやっていることと照らし合わせて考えてみたところ、何か不安しなくて、数が多過ぎて。もう少しまとめられて、ざくっといけるような、確実にやられるような施策を持ちながら、勝負をしていくと、よりいいんじゃないかなと思って。

これを見ると、本当にこの数年で解決できる題材なのかなというところで、あるのは分かるんですけど、持ち過ぎているのではないのかなと思うので、もう少しまとめられるといいんじゃないかなと思います。

藤井会長

八木委員、ありがとうございます。大事な御指摘だったかなと思います。入江委員もおっしゃった「選択と集中」の難しさかなと思います。自治体さんであれば、どこを削っていいかってところは、非常に難しい問題を持っている部分だと思いますので、当然広く構えながらも、じゃあ年度ごとにどう実施していくかというところは、実施の計画の中で議論していきながら進めていくことかなと思いますし、繰り返しますけど、前期の中で、チェック機能の大切さも話しされておりましたので、実施しながら、どう振り返りながら進めていけるかというところが大事な部分かなと思いました。大変貴重な御意見、ありがとうございます。

鈴木委員、お願いします。

鈴木委員

場面場面で何回か言っていると思うんですけど、せっかくこの基本計画を決めるので、今、八木さんも重点項目、もっと絞ったほうがいいんじゃないかってありますけど。決まったことに対しては、せっかく後ろのほうで今日、いろんな方が、職員の方が時間を使っているんであれなんですけど、どんな施策をするにしても、まず、この計画ありきですよ。いろんな目の前でやらなきゃいけない業務が、計画に対してどう結びついているかというのを常に意識してお仕事をしていただきたいというのが本当にありますと。

目の前の仕事で、判断材料が前年はこうしたからとか、これまでこうしているからというのが、やっぱりまだまだ担当さんの頭にウエイトがすごく高くて、計画じゃないですよ、こ

	<p>れまで過去が大事みたいになっているから、そこの優先順位を頭切り替えていただいて、やっぱり計画のこれに項目するからこれはやるべきだし続けるべきなんだって。</p> <p>逆にもう計画から外されるとか、計画にあんまりそう重点順位ってうたっていないよねというやつであれば、別にさっきの「選択と集中」の中でも優先順位、もう思い切り下げてもらって、やめたらいいんじゃないかというやつが結構いっぱいあるはずなんですよねという。だからその判断材料を計画であってほしいという、そのための今大事な計画をつくっているという意識でいただければって、釈迦に説法みたいになっちゃったらあれですけど。そういう意識が職員さんとの会話の中で、困っておられることもよくあって、そのときの判断材料というのがやっぱり上長から言われたからとか、ちょっと声の大きい市民から言われたからとかではなくて、やっぱりあるべきは計画にあるかどうかということを経験としていただきたいのを、改めてその後ろのほうにいらっしゃる実動部隊の皆さんにお伝えしたいなと思って。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。 佐藤課長、お願いします。</p>
事務局（佐藤企画政策課長）	<p>企画政策課長の佐藤です。 今日、様々な貴重な御意見、御提言等を委員の皆様からいただきました。大変ありがとうございます。今日いただきました御意見、御提言を今一度、ちょっとこちらのほうでも検討させていただいて、次回お示しできればと考えておりますので、よろしく願いいたします。ありがとうございます。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。そのほか。 鬼頭委員、どうぞよろしくお願いします。</p>
鬼頭委員	<p>いろいろ聞かせていただきまして。私はこの計画、この思いはすごいことだと私は。ただ、ジャンプした感じに見える。最初は私もそう思いながら聞きましたけど、こういう計画というのは、本当にすごいと私は思いました。ただ、それに向かってこれから計画していくというのは、やっていけば、この夢というかこの計画自身は別にいいなと思っています。</p> <p>今、徐々にコロナが少しずつ、まだ分からないですけど、少しずつ行事もできるようになって、地域もこのたび盆踊り大会とかできるようになったのですね。そうしたら、自分ごとですけど、息子にお手伝いしてくれるって言ったら、いいぞという感じで、そういう思いを持っているんだなというのも分かったんですね。</p> <p>だから、やっぱり若い子が、そういうのに向かってくれているというのがすごくうれしくて、だから1つずつ、そうやって地域の人とのつながりの場所というのが復活してきたかなと思うんです。</p> <p>ただ、ちょっと残念なことは、自治会さんたちとか、班長さん会とかその辺のところ、ちょっと協力が得られないところはなぜかなというのは思っているんです。でも、やっ</p>

ぱり 100%は人はできないので、やっぱり 1人が2人、2人が4人というぐらいに、やっぱり順番に大きくしていけばいいと思っているので、これを機に、少しずつ活性化できるかなと思っています。

それと、市役所まで出てくるということは、栄南さんにしろ、佐古木にしろ、わざわざ市役所のほうまで出向くということはなかなかできないと思うんです。

だから、私は今日、ほかのところへ旅行に行ったときに、まちなか交流館ですか、ああいうものとかが、あるところに行ったんです。そしたらその一括でその地域のいろんな有名品とかいろんなものが展示してあったので、弥富市にもそういうものがあるといいなと旅行から帰ってきて思いました。

だからやっぱり宣伝をするための、せっかくの計画があるのだから、弥富市をもっとアピールしていくような方法をどンドンしていかないと。昔はどこから見えたの。弥富。弥富ってどこ。長島温泉の隣って言ったら、ああって言われたんですけど、最近、弥富と言うと、あ、金魚の弥富というのが、ちょっとずつ進歩しているのを耳にしましたので、全然前に進んでいると私は感じているので、やっぱりこれは反対もあれば賛成もあるので、何しろ進んでいくということは大事かなと思っていますので、あんまりマイナスばかり考えなくてもいいことを少しずつ進んでいくといいかなと私は。だから、女性の会として、私ができる力で、力のほんのちょっとですけど、何かいろいろ進んでいきたいなと思っています。こんな力しかないんですけど、ありがとうございます。よろしくお願いします。

藤井会長

鬼頭委員、ありがとうございます。

まさに計画の思いは、ここにいる皆さん一緒かなと思いますので、その本当に実施していくところでの様々な御意見をいただいていると思いますし、弥富市役所だけではなく、皆さんが協力をして進めていけるということが、大事なポイントだなということを鬼頭委員からのお話から感じたところでございます。御意見ありがとうございます。

それでは、そろそろ時間になりますので、皆様からいただきました御意見のところは、後期基本計画の素案の部分、「現状・課題」とか、「主要施策と概要」のところを今一度検討の材料として御意見を賜りまして、次回のところでは、さらに「主要事業」、あるいは指標等といったところも、進んでいかななくてはいけない段階になるかなと思いますので、次回以降の御協議につきましても、今一度よろしくお願いを申し上げます。

それでは、次第の3の協議事項は以上をもちまして終了とさせていただきます。

続きまして、次第の4、その他になりますけれども、事務局のほうからよろしくお願いをいたします。

#### 4 その他

事務局（山内）

事務局の山内です。

資料は御用意しておりませんが、今年度から実施しております、市民と行政の協働に関する勉強会について御報告させていただきます。

この勉強会は、昨年度の第1回総合計画審議会におきまして、市民協働を総合計画の特徴

に掲げているものの、市民の意見を吸い上げる場合は、アンケートやワークショップに限られているとの御意見を頂戴したことを契機に、市民協働を具体的に進めるためにはどうしたらよいかという視点から、企画政策課、市民協働課、人事秘書課が、組織横断的に意見を交わしながら企画をしたものです。

その結果、市民との協働には、やはり市民と行政との信頼関係が必要不可欠である、また、職員が総合計画と市民協働について学べる場が必要という結論に至りまして、職員同士、また、市民と職員が積極的に意見交換を行い、関係の構築を図ることができるような勉強会を開催することとしました。

市民が市の施策や職員の仕事について知ることができるきっかけとなり、また、市民と職員が感じるギャップなどをお互いが知るきっかけにもなっております。職員側では、若手職員を中心に募集を行いまして、総合計画の内容を網羅するよう、各部局から約2名を選出し、計10名が現在参加をしております。

市民側としましても、市として初めての試みで、試験的な運用も兼ねていることから、審議会の市民公募委員の鈴木委員と今井委員の両名に協力を仰ぎまして、また、ヤトミーティングのメンバー3名と合わせて、5名の方に協力をしていただいております。

ここでですが、鈴木委員と今井委員のお二人から参加した感想などをお聞かせいただけるとありがたいのですが、よろしいですか。

今井委員

じゃあ私から。何をしゃべればいいのかなんて、まず、思ったんですけど、このまま、もう素の自分を出せばいいのかって思って、ここでもそうなんですけど、全然やっぱり関わりがない職員の方たちとお話をするという中で、比較的若くて、自分の娘ぐらいの職員さんとかもいらっしゃるんですけど、皆さんすごいしっかりされていて、何なら私たちの話よりすごい面白いというか、上手にお話ができるんだなというところが、やっぱり弥富市でお仕事されている上で、やっぱり優秀だなというのをまず実感したのと、この場では、話したことは絶対外には共有しないという約束の下で話をしているので、すぐに打ち解けたという感じで、私も鈴木さんの知らないこととかもいっぱい知れましたし、もう何かそういうことがやっぱりコミュニケーションの中で必要なのだろうなという、何か上辺だけの付き合いじゃなくて、みんなが思いやりを持って、その人の背景を知ることが世の中、すごい重要なんだなというのを感じました。

なので、内緒の話は絶対しませんし、そういう場がもっとあればいいなと思って。若い職員さんたちじゃなくても、課長さんたちともお話し、たくさんしたいなと思いますし、何かそういう場をたくさん持っていただけると、私たちも楽しいし、うれしいし、協力したいなという気持ちになると思うので、ぜひぜひまた御協力ください。

鈴木委員

本当にすごい楽しいですよ。市役所の職員の皆さんが本当にいろんな話をしていただけるので、まず、すごく楽しく、コミュニケーションの場になっています。それぞれの皆さんがやっぱり、どうしても市の窓口を、机をテーブル1個挟んだ対面に立つと、結構皆さん、職員の方があえて同じような答え方をしなきゃいけないとか、市としてのこのスタンスで話さ

なきやいけないというのがあるので、やっぱり迂闊なことを言えない、どうしても安全なことしかの受け答えになって、社交辞令じゃないですけど、当たり障りのないやり取りになってしまうところが、今回の会議の中では、やっぱりもう皆さん一人一人がすごく個性があって、趣味嗜好というの、みんな魅力的なんですよ。

だから、それをもっと出していいんじゃないのかなって、窓口でも全然、もっとフランクに話してもらったらいいのになというの、はすごく思います。それを出してもらえただけで、より親近感が湧くので、やっぱりその答え方のバランスってすごく難しいのは分かりますけど、もうちょっと個性あっていいんじゃないかな。

多分、意識としては、誰が答えても同じ答えにならなきやいけないという大前提の下で今、窓口に立っておられると思いますけど、いや、所詮人ですから、お互いに。なので、あの人がああ言っていたけど、あの人はそういう言い方するけど、私はこう思うんですみたいなのも、それは別にあってもいいんじゃないかなとか、思うんですよ。

ただ、それが基本線として、市のルールにちゃんと乗っているかどうかはあるかと思うんですけど、ただ、さっきおっしゃたように、本当に皆さん優秀なのですごいです。だから、その辺のバランス感覚も持っておられるんじゃないかなと思うので、もうちょっと個性、今後も出してもらえれば、普段の業務の中でも。

あと、やっぱり部署間の、お互いが何やっているか分からないというか、ただ、それぞれの皆さんが職歴の中で配属が変わってきているので、その経験のことは分かるけど、やっぱりやっていない部署のことは分からない。職員さん同士で何か新鮮な想いみたいなのところも感じておられたようなので、それもやっぱり本当に普段から何か他部署、さっきの話にも通じますけど、横のつながりというか、職員さん同士でも、いろんなコミュニケーションをもっと活性化いただく機会をつくってもらえるといいなと思うし、市民同士もそれは一緒のことであって、本当にこの協議会ですら、何となく協議会だからってかきこまった感じになるんですけど、多分それも最初のほうに、いや、もっとフランクに楽しくやりましょうよって言っていたと思うんですけど。

なので、その辺ももっとフランクに、お互い思っていることをすんなり言い合えるようなことが、いろんな場面でできるといいなと思いますので、そんな構えなくていいですよと思います。

事務局（山内）

ありがとうございました。

先ほどの勉強会の件ですけれども、市のホームページに1回終わるごとに瓦版というところで掲載しております。ただ、先ほど言ったように、内容については口外しないということなので、内容については載っていないんですけれども、その風景とか、そういったものは載っていますので、もし興味ありましたら、ぜひ御覧いただければと思います。

勉強会についての報告は以上となります。

事務局（伊藤）

最後に、次回の審議会の御案内をいたします。

第6回弥富市総合計画審議会は、9月25日 月曜日 午後1時30分より開催いたしま

<p>藤井会長</p>	<p>す。</p> <p>次回は、本日の御審議を踏まえて、修正する箇所、及び施策に紐づく事業等について御審議いただく予定であります。</p> <p>正式な開催通知につきましては、改めてお送りさせていただきます。</p> <p>事務局からは以上となります。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>少し時間が超過してしまって申し訳ありません。</p> <p>改めまして、各委員の皆様の貴重な御意見、誠にありがとうございました。引き続き、次回以降、少しフランクに進められるように努めたいと思っております。本日、審議、誠にありがとうございました。</p> <p>それでは、進行を事務局に戻させていただきます。</p>
<p>事務局（佐藤企画政策課長）</p>	<p>藤井会長をはじめ、各委員の皆様、大変ありがとうございました。</p> <p>本日は、後期基本計画素案についてと弥富市総合戦略について慎重審議を賜り、感謝申し上げます。</p> <p>以上をもちまして、第5回弥富市総合計画審議会を閉会させていただきます。委員の皆様ありがとうございました。</p>